

発行：学園都市大学古文書研究会  
発行責任者：代表 吉田健一



### 公開講座

## 「戦国時代の文書を読む」

～戦国時代から江戸時代への八王子～

八王子市郷土資料館

小林 央氏

八王子学園都市大学いちよう塾主催の公開講座「戦国時代の文書を読む」が八王子市郷土資料館の

四月十五日（土）に八王子市学園都市センター・イベントホールにて開催された。

八王子が大正六年に市制を敷き今年の市制百周年に因み、戦国時代の八王子に残る古文書に触れながら八王子の「まち」の変遷を紹介頂いた。

（平安時代）小野氏（篁）を祖とする横山党が土着し支配権・所領を拡大した。古文書に現われる八王子市付近の地名は河口・由井・中野・梅坪・大谷・豊田・平山・由木・梶田・小比企などがあり、また小野の牧や船木田荘なども知られておりこれらと横山党の所領は一部日野・町田などの地域も含んでいるが、現在の八王子市と主な領域で重なることと推定されている。

（鎌倉時代）横山党は和田合戦（建保元年1213年）に参加した結

果所領を没収され八王子は大江広元に与えられた。

（南北朝・室町時代）広元の二男長井時広は出羽置賜の長井荘に所領を有したが後に伊達の侵攻を受け（至徳二年1388年）所領を失った。後に八王子南部に長井氏の存在が知られており出羽の長井氏が八王子に戻って来たことと推定されている。

（戦国時代）鎌倉公方を補佐すべき管領上杉氏に鎌倉を追われた公方（足利氏）が古河で古河公方として再起した享徳の乱（享徳三年1482年）以降、利根川の北側を古河公方が支配し南を上杉側が伊豆・相模・武蔵・上野などを抑える形となる。そうした中

で長井氏は扇谷上杉方として活躍しその後片倉城、初沢城、広園寺に足跡が残されている。上杉氏は山内・扇谷に分裂し伊豆からは後北条氏が関東に進出を開始し諸勢力が入り乱れる状況になる。

ここで、北條氏康は武蔵の河越を拠点としたが、それを奪回すべく上杉方は体制を立て直し河越の戦

いを挑んだ（天文十五年1546年）が大敗した。

長尾景虎（上杉謙信）は永禄二年（1569年）に関東管領の官名を受け翌永禄三年（1568年）乱世に突入した関東平野に入り後北条家攻撃の途次八王子の初沢城を攻めそこで長井氏は断絶に至った？ものと思われる。

また、この前後に高尾山薬王院より要請を受けて武州小仏谷の関越えの諸軍勢に依る乱暴狼藉を禁止する上杉謙信朱印状（永禄四年）（薬王院文書）と高尾山薬師堂の修理の寄進に関する北條氏康判物（永禄三年）（薬王院文書）の二例の古文書紹介を頂いた。

滝山城の周辺に宿場など城下の遺構が認められる。その後武田の侵攻の虞、更に秀吉への備えの為八王子城へ移り城下町も元八王子にうつる。江戸時代には大久保長安が纏める新八王子と甲州道中八王子十五宿が町の中心地になった。

## 第五回会員総会

出席者三六名

四月十五日八王子学園都市センター・イベントホールにて、小林央先生のご講演に引き続き、当会の第五回会員総会が開かれました。出席者は三十六人でした。まず最初に、吉田代表から挨拶があり、もう一年代表を務めることとなった旨の表明がありました。

次に、ご来賓の学園都市振興課長牛山清志様と八王子学園都市文

化ふれあい財団理事長三浦眞一様から、ご祝辞をいただきました。お二人は、いちよう塾には約三百講座がある、当会の活動は学園都市大学へおいに貢献している等のお話がありました。もう一人のご来賓の当会顧問馬場憲一先生は、総会後の懇親会においてになりました。

その後、吉田代表から二十八年度活動報告と決算報告がありました。活動報告では、この一年で実施した四文献の解説、会報発行、パソコン教室開催、創価大学図書館見学、作品展への出品について触れました。続いて、新年度の役員体制、活動計画、予算案、会則の改訂案につき趣旨説明がありました。全議案は、満場一致の拍手で承認されました。

次に吉田代表から本年度の課題として、初心者用のPC教室の実施を予定していることについて説明がありました。この教室に加えて、会員のパソコン能力レベルアップを図るべく、ワード漢文の返り点・ルビの挿入、ワード崩し字間に解説文を挿入等の新技術の習得のための教室も予定している旨のお話がありました。

総会後には、場所を変えて懇親会がもたれ、三十一名の参加がありました。

